

有言実行

代田中・3 辻井 柚希

私たちの目標は

市内大会優勝、東三大会で勝ち進む
私たちはそれを実現するために
必死でバレーの練習に励んだ

三年生が引退した後の新人戦

私はレフトアタッカー

自分がまとめなきやという緊張
自分が決めなきやという焦り

何もできないまま、三位で終わった
自分の不甲斐なさに涙がこぼれた
もつとできたはず

「次は勝つ」と誓った

次は勝つ！

「エース」という名が
似合うアタッカーになる！
そう決めて必死に練習した

「どうスパイクしたらいいですか」

「クロスに打てるようにしてみたら」
先生にアドバイスをもらった

「もつと声かけてカバーしよう」

「点が取れたら、みんなで喜ぼうよ」
チームの連携プレーを

メンバーと話し合った

私たちは進化した

個人の力もチームの力も

次は勝つ！

リベンジをかけた市内春季大会
もう私に緊張も焦りもなかった
ミスをした時は

メンバーの応援に助けられた

その結果は、見事優勝

努力が実った瞬間だった

よっしゃ

みんな、飛び跳ねていた

次も勝って、東三大会で活躍する

新しい目標ができた

次も勝つ！

部活の引退がかかった夏の大会

私たちの目標は

市内大会優勝、東三大会で勝ち進む

私は自信にあふれていた

どんなサーブでもレシーブできる

どんなトスでもスパイクで決める

とてもワクワクしていた

そして市内大会でふたたび優勝できた

東三大会に出場できる！！

思わずうるっとしてしまった

次も勝つ！

大きな壁の東三大会

相手は強敵の豊橋のチーム

試合前の練習では。緊張と不安で

調子が出ない

どんどん自分を追いつめ

涙がこぼれた

いざ試合が始まると

やっていくうちに緊張がほだけ

私たちは一勝を成し遂げた

次も勝つ！

準決勝進出をかけた二試合目

相手は豊橋二位

チーム全体は好調だ

でも、スパイクしてもすぐ拾われ

相手が打ち返してくる

相手の圧勝で試合が終わった

でも悔しくなかった

それは全力で戦えたから

チーム全員、泣くことはなかった

私の中学の青春が終わった

チームで監督の話を聞く最後の時間

「こんな最高のチームは他にはない」

「まだ一緒に部活がしたかった」

その言葉に三年全員が涙をあふれ流した

もつとやりたかったと後悔した

「有言実行」

それにはたくさんの方が努力が必要である

これからはいくつもの壁があっても

私は必ず壁を乗り越える

それは、目標を達成することができたから

次も必ず勝つ